

はちこのおうじ 蜂子皇子ゆかりの聖地「皇野」

すべの「皇野」とは、羽黒古道（鉢子ルート）の入り口近くの地名です。

皇野公園石柱 (裏面④)

参詣道の道標としても建てられた石柱。「右手向・左羽黒山」と刻まれている。



羽黒古道の入り口「鉢子」集落、そして鉢子集落の裏山にあたる台地一帯の総称である「皇野(すべの)」。これらの地には、約1400年前に羽黒山を開山したと言われる蜂子皇子(はちこのおうじ)にまつわる伝説が残されています。

伝説によれば、崇峻天皇の皇子で、聖徳太子のいとこにあたる蜂子皇子は政争によって京を追われ、日本海を漂流したのち鶴岡市由良・八乙女に上陸、その後、三本足のカラス(ヤタガラス)に導かれて皇野へとたどり着いたと言われています。蜂子皇子は、皇野を拠点として修行を重ねたのち、羽黒山を開山します。羽黒山の本殿は、幾たびかの移転を経て、現在は羽黒山頂に置かれていますが、その創建の地、すなわち羽黒派古修験道発祥の地はこの皇野であるとも言われています。伝説を裏付けるように、皇野の中央には、「元羽黒(もとはぐろ)」と呼ばれる羽黒山本社跡(裏面⑤)があり、御手洗(みたらせ)の池跡、稲荷の祠が建つ開山塚などが現在も残っています。



行者塚 (裏面⑥)

蜂子皇子の墓との言い伝えもある。石塔には梵字「一世行者〇海」の文字が刻印されている。(近年の調査の結果、〇は「永」が有力であるとされています。)

かつて(江戸時代以前)は、清川～皇野～羽黒山頂への登山道が羽黒山参詣道の1つとされ、立谷沢川流域は多くの参詣者で賑わいました。皇野には、室町時代まで羽黒修験の社寺や坊舎など500余りの建物が軒を連ね、栄えていたと言われています。本ガイドマップで紹介している古道(鉢子ルート、御滝神社ルート)は、この参詣道をもとに地域住民で結成された「羽黒山修験道を守る会」によって復元・整備されたものです。「鉢子」という集落名は、この「蜂子皇子」伝説に由来しており、「皇野」は皇子を納める野という意味の地名です。諸説が伝わる羽黒山の歴史は解き難く、それゆえに神秘に満ちていると言えるのかもしれませんが。

羽黒古道ガイドのご案内

ガイド1人当たり料金

(10人にガイド1人が基本となります。)

- ◆羽黒山頂コース(鉢子～羽黒山頂) 4,000円:目安1時間30分
- ◆羽黒山往復コース(鉢子～羽黒山頂～鉢子) 6,000円:目安4時間、山頂での休憩等1時間含む
- ◆羽黒山周回コース(鉢子～羽黒山頂～科沢・御滝神社～鉢子) 6,000円:目安4時間、山頂での休憩等1時間含む

ガイド……………「羽黒山修験道を守る会」
ガイド予約申込・問合せ先…庄内町商工観光課立谷沢川流域振興係
TEL 0234-56-2213

製作

羽黒古道協創委員会(平成21年3月)

お問合せ

●山形県庄内町商工観光課立谷沢川流域振興係
〒999-6601 山形県東田川郡庄内町狩川字大釜22
TEL 0234-56-2213
E-mail: tachiyaawagawaryuiki@town.shonai.yamagata.jp

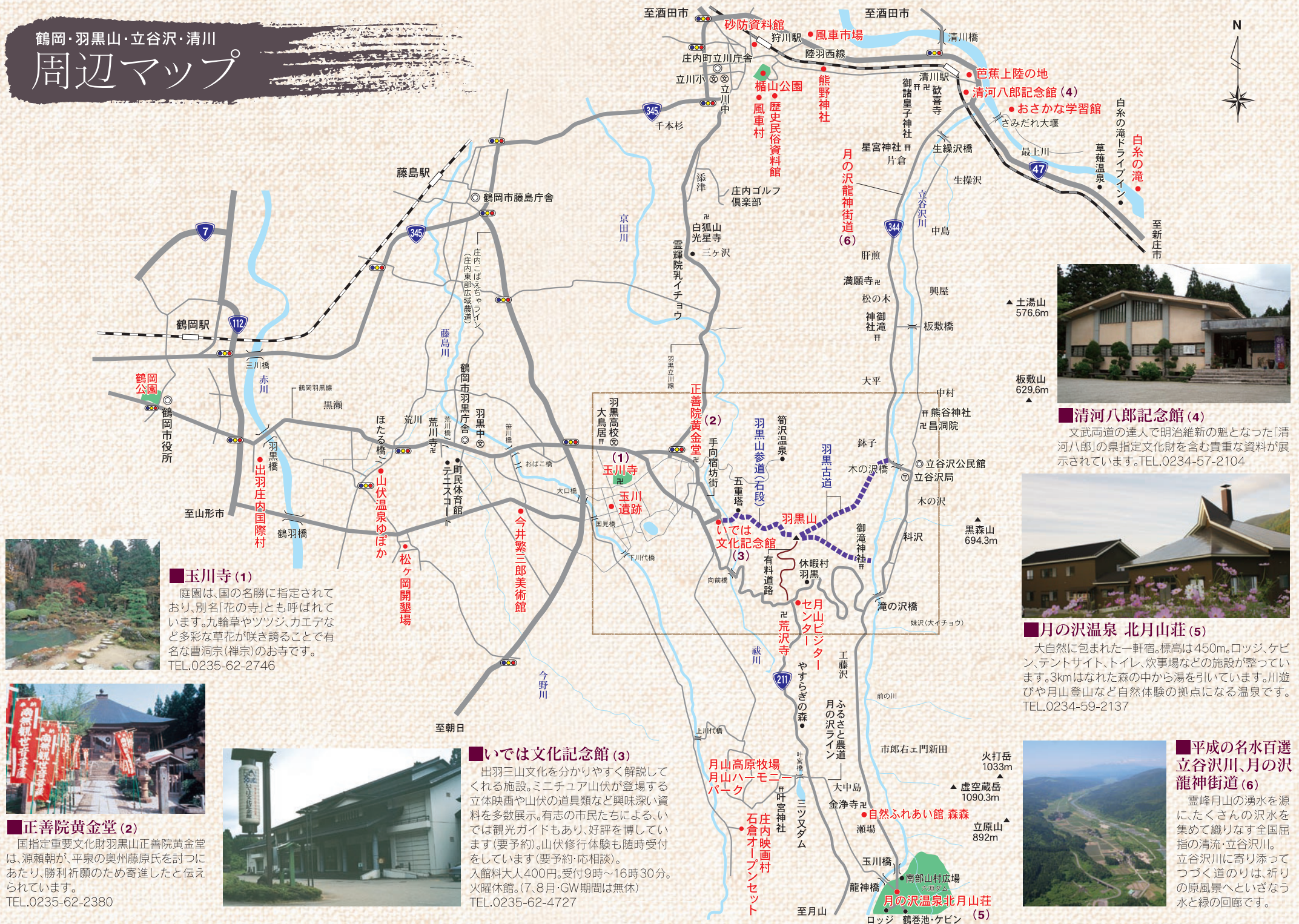
立谷沢川流域案内サイト

ふれるほどやさしくなる立谷沢川流域 検索

<http://www.town.shonai.yamagata.jp/ryuiki>

●山形県庄内総合支庁地域支援課 ☎0235-66-5442

鶴岡・羽黒山・立谷沢・清川 周辺マップ



玉川寺(1)

庭園は、国の名勝に指定されており、別名「花の寺」とも呼ばれています。九輪草やツツジ、カエデなど多彩な草花が咲き誇ることで有名な曹洞宗(禅宗)のお寺です。
TEL.0235-62-2746



正善院黄金堂(2)

国指定重要文化財羽黒山正善院黄金堂は、源頼朝が、平泉の奥州藤原氏を討つにあたり、勝利祈願のため寄進したと伝えられています。
TEL.0235-62-2380



いでは文化記念館(3)

出羽三山文化を分かりやすく解説してくれる施設。ミニチュア山伏が登場する立体映画や山伏の道具類など興味深い資料を多数展示。有志の市民たちによる、いでは観光ガイドもあり、好評を博しています(要予約)。山伏修行体験も随時受付をしています(要予約・応相談)。入館料大人400円。受付9時～16時30分。火曜休館。(7.8月・GW期間は無休)
TEL.0235-62-4727



▲土湯山 576.6m
▲板敷山 629.6m
■清河八郎記念館(4)
文武両道の達人で明治維新の魁となった「清河八郎」の県指定文化財を含む貴重な資料が展示されています。TEL.0234-57-2104



▲黒森山 694.3m
■月の沢温泉 北月山荘(5)
大自然に包まれた一軒宿。標高は450m。ロウジ、ケビン、テントサイト、トイレ、炊事場などの施設が整っています。3kmはなれた森の中から湯を引いています。川遊びや月山登山など自然体験の拠点になる温泉です。
TEL.0234-59-2137



平成の名水百選 立谷沢川、月の沢龍神街道(6)

霊峰月山の湧水を源に、たくさんの沢水を集めて織りなす全国屈指の清流・立谷沢川。立谷沢川に寄り添ってつくづく道のりは、祈りの原風景へといさなう水と緑の回廊です。

いにしへの面影息づく、
まだ見ぬ緑の回廊へ。



羽黒山
立谷沢

参詣古道 ガイドマップ

(写真)ふるさと写真家 兼古哲也(庄内町在住)



19 大鳥居

至鶴岡市街



18 石段と杉並木

参道の石段は2446段。途中の石段に盃やひょうたん、蓮の花などが33個彫られているといわれ、これを全部見つけた人は願いがかなえられるといわれています。また、両側には特別天然記念物の鬱蒼とした杉並木が続いています。



15 南谷

羽黒山参道の三の坂上り口から右に入り、老杉の下道を約500m歩いた所にあります。江戸時代は広大な客殿や庭園があった場所で、芭蕉もこの地で「ありがたや雪をかほらす南谷」の句を詠んでいます。近年、地元のNPO蜂鼓山中社などにより庭園の中心にあった心字池が復元され、周辺の景観と調和した美しい姿がよみがえりました。



16 大渡道

羽黒山石段から南谷を経由して月山旧登拜道へと続く旧道の名称です。羽黒山有料道路と交差するポイントまでの道が、地元のNPO蜂鼓山中社などにより整備されました。



14 五重塔

羽黒山一の坂上り口の杉並木の中にあります。東北地方では最古の塔といわれ、平将門の建造と伝えられています。高さ29m、三間五層柿葺素木造の現在の塔は、約600年前に再建されたものといわれ、昭和41年には国宝に指定されています。近くには樹齢1000年、樹の周囲10mの巨杉「爺杉」があります。



12 三神合祭殿

月山・羽黒山・湯殿山の三神を合祭した日本随一の大社殿。厚さ2.1mの茅葺の屋根、総漆塗の内部など、その全てに迫力があって見ごたえ充分です。前方の鏡池は、神秘の御池として古来より多くの信仰を集め、羽黒信仰の中心でもありました。

石段と杉並木



15 南谷
芭蕉句碑
ありがたや雪をかほらす南谷



18 月山ビジターセンター

出羽三山の景観や地形・気候の特色、動植物の生態などを、写真パネルなどで分かりやすく解説してくれます。TEL.0235-62-4321



5 開山塚・御手洗の池跡

かつて羽黒山本社や御手洗の池があった場所。羽黒派古修験道発祥の地とも言われています。



4 「皇野公園」石柱

参詣道の道標としても建てられた石柱。「右手向・左羽黒山」と刻まれています。



8 稚児塚

幼くして亡くなった僧を悼んで建てた墓と言われています。



11 みはらしの丘

天気が良ければ鳥海山や庄内平野、日本海まで見渡せます。



9 木立を抜けて視界が開けます。



10 みはらしの丘

周辺の山々が見渡せます。



7 飛脚の墓

蜂子皇子の使者の墓とされ「以手紙之墓」と刻まれています。



6 行者塚

蜂子皇子の墓との言い伝えもある塚で、石塔には梵字と「一世行者〇海」の文字が刻印されています。(〇は「永」が有力であるとされています)



17 御滝神社

「中台不動」とも呼ばれ、中台滝や「龍の剣彫り」「天狗の腰かけ」と呼ばれる岩があり、羽黒修験の拝所でもあります。

参詣古道 トレッキングマップ



古道入口案内板

0 250 500m